

# ふしみさらダボール子育て情報

「体験から言葉を育む」

令和5年9月6日号

板橋富士見幼稚園



## 言葉の育ちは知を高める

幼児は2歳から3歳にかけて、言葉を急速に獲得していきます。自分の周りに見えるものから、人が話している言葉から、そして、愛情を注いでくれる親からなど、あらゆる場面で言葉を獲得しようとするのです。

十分に睡眠を取った幼児が温かな愛情の中で目覚めると、言葉を獲得するスイッチが起動します。すると幼児自らスイッチを押して、言葉の学びが開始されます。

温かな愛情言語が伴わないスマホやタブレットなどは、幼児にとって、このスイッチが固くなり、自ら押しづらい状態になります。じっと集中して見ているようでも情報は聞き流れてしまいがちです。ある学者によると、乳幼児の長時間の視聴は一時的に脳の血流を妨げている状態になるとも言われています。ちょっとした間 静かにしてほしい時などには役立つ物ですが、乳幼児期にはあまりお勧めしていません。



最も言葉を豊かに獲得できるのは、眠る前の読み聞かせ“グッドナイトストーリー”です。お子様が夜寝る前に、腕を枕に絵本を読んであげてください。愛情に満たされた中で、ゆったりと読んでくれる声を聞きながら眠りにつくことで、夢の中でも物語を再生しながら様々な言葉を獲得していきます。



毎日が忙しい現代ですが、ご両親で交代に読み聞かせをしてあげて欲しいと思います。きっと、豊かな感性のある言葉がたくさん蓄えられることと思います。

【夏の終わりの夏季保育、みんなでスイカ割り大会をしました】